

令和元(2019)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	神経障害性疼痛に直結する神経回路動作異常メカニズムの解明と創薬への応用
研究代表者	津田 誠 (九州大学・大学院薬学研究院・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>応募者らは、これまで神経障害性疼痛の病態にグリア細胞が大きく関わることを明らかにして、研究領域を世界的にリードしてきた。本研究は、末梢神経レベルでのグリア細胞と神経細胞の関係、さらに中枢神経レベルでの疼痛調節機構について、先端的技術を用いて明らかにしようとするものである。</p> <p>触刺激で誘発される激しい痛み(アロディニア)に代表される神経障害性疼痛の発生機序を解明し、エビデンスに基づいた治療法の開発を目指すもので、学術的独自性・創造性が高い研究である。本研究により、病態理解が多面的に深まり、新規治療薬シーズの発見が期待できる。</p>